

令和4年度 指定管理者モニタリング年度評価シート [まんさくの丘]

施設概要			
施設名(所在地)	まんさくの丘 (山形市蔵王半郷1366-2)		
施設目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉型児童発達支援センター こまくさ学園 発達に障がいのある未就学児を対象に、集団生活の中で一人ひとりの能力に応じた療育を行い、その中で子ども達の情緒の安定、身の自立、運動発達、コミュニケーション手段の獲得等を促し、次のステップや自立に向け、諸能力の向上を図ることを目的とした施設。</li> <li>・生活介護事業所(通所) 恵光園 障がいのある方を対象として、一人ひとりの希望や心身の状況等に応じて日中活動の場を提供し、その人らしく生き生きと安心して活動できるように家庭と連携して必要な支援を行い、自立意識を高めると共に生活能力の向上を図ることを目的とした施設。</li> <li>・宿泊型自立訓練事業所 蔵王通勤寮 障がいのある方が、日常生活能力を向上させるための支援、生活に関する相談・助言、その他地域生活への移行に必要な支援を受けながら、地域での自立した生活を営むための訓練を目的とした施設。</li> </ul>		
指定管理者(選定方法)	社会福祉法人 山形市社会福祉事業団(選定方法:非公募)		
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
指定管理者が行う業務	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 まんさくの丘の運営に関すること</li> <li>2 管理物件の維持管理に関すること</li> <li>3 条例に規定する連絡調整に関すること</li> <li>4 条例に規定する利用の制限に関すること</li> <li>5 規則に規定する開館時間の変更・休館日の変更・臨時的な休館に関すること等</li> </ol>		
利用料金制導入の有無	有		
施設所管課	福祉推進部障がい福祉課		
評価区分	評価項目	評価ポイント	評価
管理運営の状況	人員配置	人員配置は過不足なく適切に行われたか	A
	有資格者の配置	必要な有資格者の配置は適切に行われたか	A
	資質向上	職員の資質向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	受付・接客	接客向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	平等利用	特定の利用者を有利または不利に扱うことなく、取り扱いが適切に行われたか	A
	利用者サービス向上	利用者サービス向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	広報	利用者への広報は情報提供として適切に行われたか	A
	備品・建物等の管理	備品・建物等の財産の管理は適切に行われたか	A
	安全対策	利用者の安全確保の取り組みは適切に行われたか	A
	危機管理	緊急時に備えての研修・訓練等は適切に行われたか	A
	事故・苦情の対応	事故・苦情に対する対応は適切に行われたか	A
	利用の状況	開館日数	開館(日数)は適切に行われたか
開館時間		開館(時間)は適切に行われたか	A
利用人数		利用人数は目標を達成したか	A
事業実施の状況	実施回数	実施回数は目標を達成したか	A
	参加者数	参加者数は目標を達成したか	A
	事業内容	事業の内容は施設の設置目的にあう適切なものであったか	A
満足度の調査	利用者満足度の把握	アンケート等を実施して利用者満足度の把握は適切に行われたか	A
	利用者満足度向上	アンケート結果等により利用者満足度向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
維持管理の状況	清掃(日常)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	清掃(定期)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検(日常)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検(定期)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保安警備	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	修繕等維持管理	修繕等は適切に行われたか	A
収支の状況	利用料金	利用料金は目標を達成したか	A
	利用料金の收受	利用料金の收受は規定の料金を適正に收受するなど適切に行われたか	A
	経費の縮減	経費縮減についての取り組みは適切に行われたか	A
	収入の増加	収入増加についての取り組みは適切に行われたか	A

<p><b>成果のあった主な取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において実施した事業については、行先や事業内容を工夫し、感染予防についても徹底し実施した。</li> <li>・アンケートを通して利用者の希望や満足度、改善が望まれることについて具体的に把握するとともに、園の方針や考え方について、利用者に対する情報発信にも努めた。</li> </ul>
<p><b>主な課題や今後の対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスのために、変更、中止した事業(行事)の再開や元の形態に戻す判断が難しい。</li> <li>・新規の契約者の確保、新型コロナウイルスの5類移行後の感染防止が課題となるが、関係機関との連携、健康管理支援、感染防止対策を継続して行っていく。</li> <li>・アンケートで示された利用者の希望や要望を十分に検討し、活動や支援サービスに反映させるよう努める。</li> </ul>
<p><b>評価コメント</b></p> <p>当該施設は「こまくさ学園」「恵光園」「蔵王通勤寮」の三施設が一つの建物の中に併設している総合施設である。それぞれの施設が連携を図りながら各事業の特性を生かし、きめ細やかな質の高い福祉サービスを提供している。</p> <p>利用者満足度調査では、こまくさ学園及び恵光園で「満足・やや満足」の割合が80%を超えるなど高い評価を得ており、特にこまくさ学園においては、利用者の93.6%の方が「満足・やや満足」と評価し、前年度よりも5.6%も高い評価を得ることが出来た。</p> <p>利用状況については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標人数を下回った施設もあったが、利用者の健康状況の把握、感染症対策を徹底したことで、感染者発生後の感染拡大を防ぎ、利用者が減少しないように努めた。</p> <p>事業の実施については、前年度から引き続き中止や規模縮小となった事業が多数あったため、三施設全体での実施回数は目標値を下回る結果となったが、参加者数については、野外での活動、行先を変更するなど、内容を工夫し参加しやすい体制づくりに努めたため、目標値を上回る結果となった。</p> <p>また、制限のある中でも、事業及び活動等をできる範囲で積極的に行い、魅力ある施設づくりを心がけたことに加え、適切に加算を取得したことで、利用料金の収入実績(給付費収入+利用者負担金収入)において、三施設合計が前年度実績を上回る結果となった。</p> <p>引き続き利用者の障がい特性等に配慮し、関係機関とも連携しながら充実した療育及び支援等を実施するとともに、利用者が安心して活動できる環境整備を行い、更なる利用率向上を継続されたい。また、事故防止に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の感染予防等にも状況に応じて取り組み、一層の健康管理に努められたい。</p>